

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	<b>武雄市立山内東小学校</b>
1 前年度 評価結果の概要	・最終評価に向けて数値目標を向上させることができた。これからも数値目標以上となることを目指していきたい。 ・さらなる「学力の向上」と「心の教育の充実」を目指していきたい。
2 学校教育目標	ひとりひとりが <b>かがやく</b> <b>こころやさしい</b> <b>山東っ子</b> ～地域と共にある学校づくりを通して～
3 本年度の重点目標	①わかりやすい授業、確かな学力のつく授業を展開できるように、日々授業改善を行う。 ②しつけ三原則（挨拶、返事、はきもの揃え）の指導に力を入れ、いじめ防止に努め、思いやりの心を育て、心の教育の充実を目指す。 ③たくましい心と体をつくるために、体力向上と食育に努め、活気のある元気な児童を育成する。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○教師アンケートで「授業づくり1・2・3 vol.1 & 2」を意識した授業実践を行った割合を80%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、授業の中で、自分の考えを書いたり、説明したりする活動をしくみ、児童の考えを交流させる。							・学力向上コーディネーター ・学習部	
	○全職員による学習規律の徹底	○教師アンケートで「山東っ子の学習習慣」を守り、学習規律の指導ができた割合を80%以上	・「山東っ子の学習習慣」が身についているか振り返りの時間を設ける。 ・学級通信で発信をし、家庭との連携を図る。							・学力向上コーディネーター ・学習部	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童アンケートで「相手がいやがることをしない、いわない」の達成率を80%以上	・人権集会を実施(人権標語に取り組み)し、学級での振り返り指導を実施する。 ・授業参観で、年1回「ふれあい道徳」を実施し、地域や保護者に公開する。							・人権同和教育担当 ・道徳主任	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について「組織的対応ができている」と回答する教員の割合を80%以上 ○児童アンケートで「学校が楽しい」と回答する割合を80%以上	・生活アンケートを行い、いじめや生徒指導上の問題の早期発見、早期対応に努める。いじめを覚知した場合は、すぐに校長をトップとしたいじめ対策委員会を開き、組織で対応策を考え、児童に寄り添った対応を図る。 ・「学校が楽しくないと答える児童がいた場合は、しっかりと寄り添い、少しでも楽しく感じられるよう教育相談を充実させる。							・生徒指導主任(生活部) ・教頭	
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・児童に対して「褒めて伸ばす」姿勢で臨み、児童のよさを見つけて言葉等で表現して伝える。 ・高齢者体験、手話体験、車椅子体験等、体験活動を通して、将来の職業や生き方に対する見方、考え方を学ばせる機会を設定する。								・全職員 ・総合的な学習主任 ・特別活動主任(特活部)
	◎地域との連携による郷土愛の育成	○「ふるさと山内」について学習することは好き」と回答する割合を80%以上	・地域人材を活用した体験活動を含めた単元学習を仕組み、各学年で1回以上実施する。								・全職員 ・総合的な学習主任 ・特別活動主任(特活部)
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間以上420分以上の児童生徒80%以上	・全学級で「スポーツチャレンジ」に1種目以上取り組む。 ・「スポーツチャレンジ」強化月間を設け、結果を定期的に公表し、掲示する。							・体育主任(保体部)	
	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上 ○児童・保護者アンケートで「毎日朝ご飯を食べている」の割合を90%以上	・生活状況調査や食に関する意識調査などを実施する。 ・保健便りやアンケートを通して、朝食をとることの大切さの理解と啓発を行う。							・保体部 ・栄養教諭 ・食育推進担当者 ・保健主事	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日(金曜)を設定し、メリハリのある勤務形態とする。 ・月ごとに在校時間集計を個別に配布し、在校状況を可視化しながら時間外在校等時間を削減していこうとする意識を高める。							教頭	
	○行事・会議の効率化	○行事や会議の効率化を図り、児童と向き合う時間を確保する。 ○教師アンケートで「行事や会議の効率化により効果的な教育活動につながった」の割合を80%以上	・スズキ校務やフォーム(アンケート機能)などICTの活用で業務の効率化を図る。 ・職員会議を2か月分一緒に提案するなど、会議の効率化を図る。							・指導教諭 ・教頭	
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上と一人一人の児童のニーズに応える教育の推進	○特別支援に関する専門性が向上した教員を80%以上にする。	・「気になる子」に関する情報交換の場を週1回設け、共通理解を図る。 ・ケース会議や職員研修の場を設け、合理的配慮に基づいた指導、インクルーシブ教育の視点に立った環境を整える。							・特別支援コーディネーター ・教育相談担当	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○安全教育・防災教育の充実	○安全に関する資質・能力の育成	○防災教育を推進し、教師・児童のアンケートで「防災に対する意識が高まった」と回答する児童80%以上	・防災・減災課の出前講座を活用し、防災に関する知識を深める。 ・避難訓練や防災教室などを通して、安全教育や防災教育について意識を高める。								・生活部 ・指導教諭 ・教頭
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育											
5 総合評価・ 次年度への展望											